

# 岐阜

# ハートセンターだより

循環器内科	2025年総数
冠動脈造影(診断カテーテル検査)	1,411
経皮的冠動脈形成(PCI)	630
方向性冠動脈粥腫切除術(DCA)	2
回転式経皮経管冠動脈アテレクトミー	99
Rotablator	88
DIAMOND Back 360	11
冠動脈レーザーアテローム切除術(ELCA)	50
IVL	40
経皮的末梢血管形成術	156
植込み型デバイス治療 総数	155
植込み型ペースメーカー移植術(PMI)※電池交換含む	93
植込み型リードレスペースメーカー移植術	46
植込み型除細動器移植術(ICD)	9
両室ペーシング機能付き植込み型除細動器移植術(CRT-D)	2
ペーシング機能付き植込み型ペースメーカー移植術(CRT-P)	5
経皮的心筋焼灼術(アブレーション) 総数	503
心房細動に対する経皮的心筋焼灼術	446
その他に対する経皮的心筋焼灼術	57
構造的疾患に対するカテーテル治療 総数	165
経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)	101
経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)	10
経皮的心房中隔欠損閉鎖術	10
経皮的左心耳閉鎖術	44
経皮的中隔心筋焼灼術	1

放射線科	2025年総数
心臓造影CT	3,382
大血管造影CT	2,417
単純CT	4,743
心筋シンチグラフィ	995
FCA 総数	389
FFRangio	175
QFR	214

検査科	2025年総数
安静時心電図	21,622
リズム心電図	208
マスター負荷心電図	77
トレッドミル負荷心電図	214
ABI	4,247
肺機能検査	521
ホルター型心電図	2,125
心臓超音波検査	11,704
頸動脈超音波検査	524
腎動脈超音波検査	56
下肢動脈超音波検査	385
下肢静脈超音波検査	1,247
経食道超音波検査	199

※手術中の経食を除く

心臓血管外科	2025年総数
開心・ポンプ症例 総数	198
冠動脈バイパス 単独	52
弁膜症	104
胸部大血管	27
その他開心術	15
腹部大血管	18
ステントグラフト内挿術 総数(EVAR/TEVAR)	54
腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術(EVAR)	40
胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術(TEVAR)	14
経カテーテル的大動脈弁置換術(外科的アプローチ)	12
末梢血管	39
下肢静脈瘤手術	446
その他	12

心臓リハビリテーション科	2025年総数
件数(件)	15,903
単位数(単位)	36,641
CPX(件)	824
栄養指導(件)	3,132



特集

## 【対談】新生！心臓血管外科チーム

P.04

2025年 実績報告

カテーテル治療・心臓病手術専門病院



**岐阜ハートセンター**  
GIFU HEART CENTER

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南4-14-4

TEL 058-277-2277  
FAX 058-277-3377  
URL <https://gifu-heart-center.jp/>



診療時間	平日	午前 8:30~12:00(受付8:30~11:30) 午後 14:00~17:00(受付14:00~16:00)	土曜日	8:30~12:00 (受付8:30~11:30)	休診日	土曜日の午後、日曜日、祝日、 年末年始(12月30日~1月3日)
	土曜日	8:30~12:00 (受付8:30~11:30)				

# 【対談】新生！心臓血管外科チーム 新たに医師2名を増員し、 チーム医療のさらなる充実へ



2025年10月より、当院の心臓血管外科チームは2名の新任医師を迎え、医師4名体制へと拡充しました。今回は、松尾仁司院長と心臓血管外科を率いる小山裕副院長に、新体制に対する思いやこれからの展望についてお話を聞きました。



院長  
まつ お ひと し  
松尾 仁司先生



副院長 心臓血管外科  
こ や ま ゆ た か  
小山 裕先生

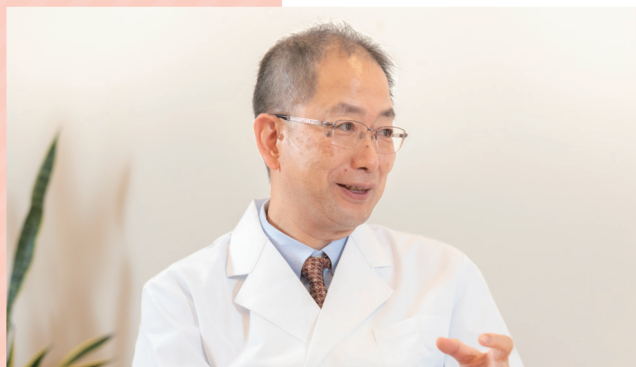
## 救命の要といえる外科の力 体制の充実によって 病院の総合力向上を図る

松尾／今回、心臓血管外科チームに新たな仲間が加わり、外科医が4名になりました。私は常々、外科の力は病院の要だと感じています。もちろん、内科の役割も極めて重要ですが、重症患者さまの救命には、外科の高度な力が不可欠です。岐阜ハートセンターは、診療科の垣根を超えたチーム医療を最も実現しやすい環境や風土があることが強みです。そのため、外科の体制が強化されることは、内科にとっても研鑽の刺激となり、結果として

病院全体の力が高まると考えています。

小山／私も、外科と内科が切磋琢磨し、その成果を患者さまに還元することが最高のチーム医療であり、病院のパワーアップに向けて各科の充実は重要だと考えています。外科の新たな担い手が増えたことで、より多くの患者さまを責任持って助けられるのはもちろん、新たなチャレンジができる体制が整ったと感じています。

松尾／4名体制になって緊急対応もより盤石になり、2つの手術室を並行して活用することも可能になります。今後はこうした新しい展開が広がることも期待しています。



## トップクラスの実績を誇る施設で 経験と熱意を磨き上げた 即戦力の医師が着任

小山／今回、新たに加わった柳澤先生と荻原先生は、豊橋ハートセンターから来てくれました。当グループの施設は、いずれも各県でトップレベルの外科手術実績を有しており、そうした環境で多くの臨床経験を培った2人は、まさに即戦力です。柳澤先生は、すでに独立して多くの治療を行える技量を持ち、荻原先生は常に前向きに勉強を重ねるガッツのある医師です。

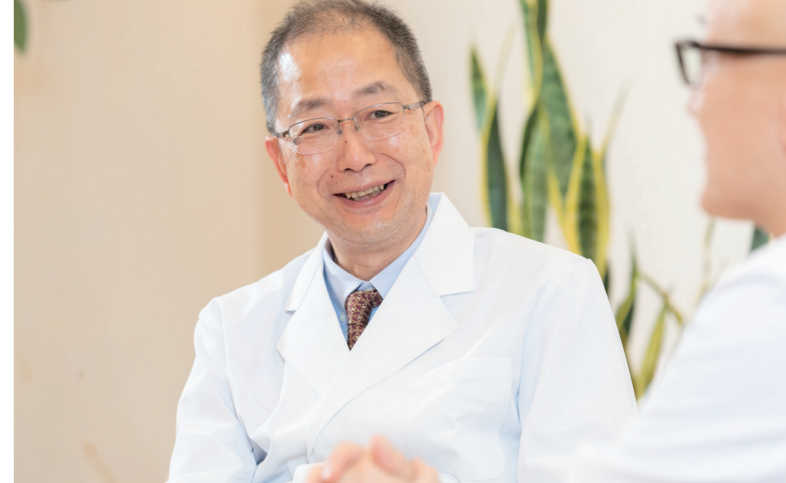
松尾／私は「人を助けたい」という思いから医者になりましたが、柳澤先生と荻原先生も「重症患者さまを1人でも多く助けたい」という情熱がにじみ出ていますね。

小山／はい。私たち心臓外科医は、緊急手術に立ち向かうことこそが、一番の社会貢献です。昼夜問わず発生する緊急手術は、時に負担がかかることもありますが、私はできる限り力を尽くすべきだと考えています。その点、2人とも同じ志を共有してくれているので、ありがたいですね。



松尾／実際に、4名体制になって具体的に動き出していることはありますか？

小山／たとえば、柳澤先生は低侵襲心臓手術(MICS)に積極的に取り組む施設で研修を受けた経験があります。岐阜ハートセンターでは、以前から胸腔鏡を用いた手術を導入してきましたが、近年、一部の施設で心臓再手術に胸腔鏡手術を試みる動きが始まっています。非常に難易度が高い手術ですが、柳澤先生が「豊橋ハートセンターでも実績があり、手術後の経過もよかったので、ぜひやりましょう!」と背中を押してくれました。荻原先生も「新しいことにチャレンジしたい」という思いが強く、周りも大きな刺激を受けています。こうした若い世代の熱意とベテランの経験に基づく冷静な判断をかけ合わせて、チームのさらなる成長につなげていきたいです。



松尾／2人が加わってから、外科チームはさらに活気が増したように感じています。

小山／外科チームは大変仲がよく、思いを率直にぶつけて刺激し合えるいい関係性ができています。手術は常に大きなプレッシャーを伴いますが、複数の目で確認し、知見を持ち寄ることで、医療の質や安全性を高めることができます。このチームワークを強みに、この新体制だからこそ実現できる医療を広げていきたいと考えています。

松尾／外科チームがさらに一步前進することで、さまざまなチャレンジへの可能性が広がりそうですね。今後もこうしたやる気に満ちた仲間を増やして、岐阜の医療を盛り上げていきましょう。

### ※低侵襲心臓手術(MICS)

胸部の側面に数cmの小さな切開を行い、胸腔鏡を挿入して行う手術。胸骨を大きく切開することがないため、手術後の痛みも軽減され、早期回復を見込めます。

## 新任医師のご紹介



心臓血管外科 医師  
やなぎさわ じゅんじ  
柳澤 淳次先生

10月より豊橋ハートセンターから着任しました柳澤淳次です。低侵襲心臓手術認定医として1000例程度の症例に携わり、患者さまの早期回復と安全性を第一とした手術を行っております。どんなことでもお気軽にご相談ください。

2025年10月より豊橋ハートセンターから赴任しました。治療前から患者さまにとって最良のお力添えができるよう日々努めます。どんな些細なことでもご相談いただければ幸いです。よろしく申し上げます。



心臓血管外科 医師  
おぎ はら ゆい  
荻原 唯先生